

「事業者経営支援金」改善 対象広がる

新型コロナウイルスの感染拡大で経営困難になっている事業者を支援するために市がこの春設けた「事業者経営支援金制度」が改善され、支給対象が広がりました。

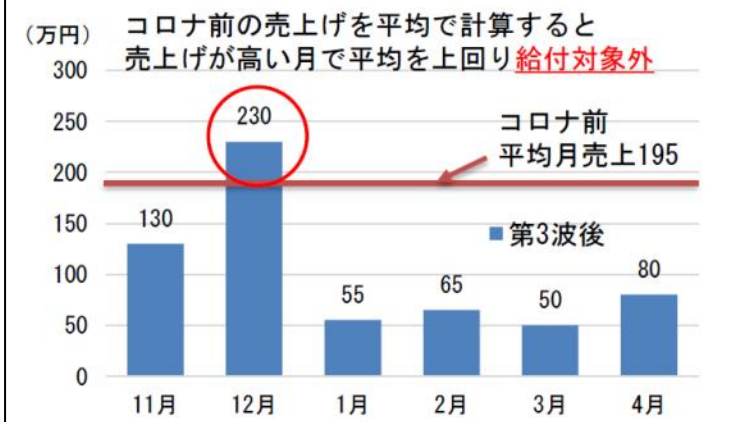
この制度は事業者の皆さんにとってありがたい制度であるとして歓迎されています。しかし、制度の運用が始まってみると、創業まもない事業者にとっては、1ヶ月でも売上げが過去平均を上回れば対象にならないなど、いくつかの点で不十分な部分があることがわかり、改善を求める声があがっていました。

市は4月27日の特別委員会の席上、対象を広げる改善を行うことを表明していましたが、このほど具体的な改善要項が示されたものです。

今回の改善では、特定の月に売上げが上がっても、全体として平均を下回っていれば支給対象にすること、売上げがゼロの月があっても、人件費の支払いなど営業実態が確認できれば対象にすることなど、いくつかの点があげられています。

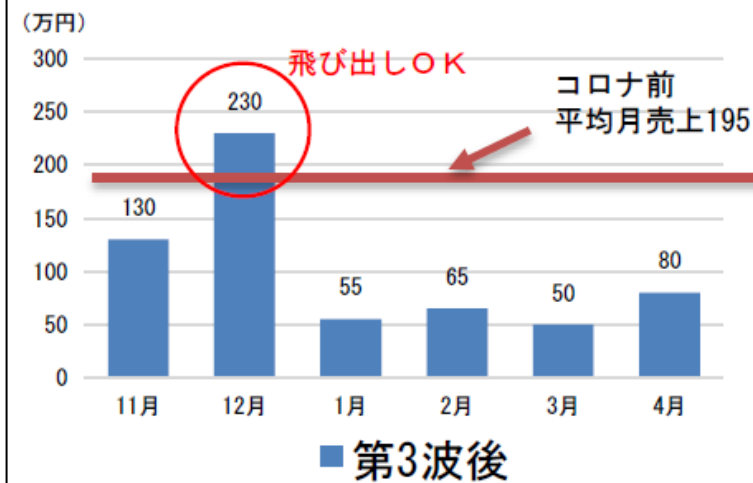
感染拡大の第4波が深刻です。そのため飲食業などの事業者はたいへんです。この制度が少しでも助けになればと思います。

平均による計算上、連続して売上げが減少していても給付対象外となっていた方



②2018年12月以降創業者

増加している月があっても
給付対象



上越市のホームページより

日本共産党上越市議員団ニュース

No.708 2021年5月30日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況

(5月21日現在)

PCR検査実施件数 10,109件(前週+688)
 管内陽性件数 125件(前週+14)
 上越市内陽性件数 110件(前週+10)
 陽性率 1.24%(前週1.18%)

柏崎刈羽原発周辺の放射線量を測定する モニタリングポストを視察



上越市議会内のUPZ議員研究会有志は24日、市内に14カ所設置されているモニタリングポストの一部を、橋爪議員の案内で視察しました。

このモニタリングポストは、柏崎刈羽原子力発電所で方が一の事故が発生した際に放出される放射性物質による空間放射線量を測定するもので、市内では柿崎区に7カ所、吉川区に5カ



所、大島区に1カ所、春日区(上越保健所)に1カ所設置されています。

この日は、柿崎区と吉川区の計6カ所のポストを視察しました。

視察では、表示装置が改善され数値が見やすくなっていること、今冬の豪雪で表示装置が破損し調整中となっている箇所(吉川スカイトピア遊ランド)があること、豪雪対策のための覆いがしっかりとされている



箇所(柿崎川ダム)があることなどを確認しました。

この視察には、日本共産党議員団の3人の他、牧田、滝沢、鈴木の各議員が参加しました。

消防点検を中止

消防団の日頃の訓練の状況が披露される機会であり、同時に各級消防大会の予選ともなっている市の「消防点検」を、昨年到现在も中止することが決まりました。

これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5月17日付で消防庁から

第28回全国消防大会の中止の連絡とあわせて市町村等へ消防操法大会の自粛要請があったことを受けてのものです。

各級消防大会は、消防団員に過度の負担となっている面があるとして、そのあり方が問われていますが、この機会にそうしたあり方を見直すことも重要ではないでしょうか。